VRSJ2019アブスト

振動エネルギーを補完しつつ特徴点を強調制御した画像特徴量を振動情報に重畳する触覚提示手法の検討

A tactile rendering method that superimpose image feature which controlled properly on vibrotactile information

我々は、これまで振動方向制御可能な剪断力提示装置を用いて，2次元方向に可能な限り正確に振動を提示した際の触覚再現性を検討してきた．これまでの研究では，単純な記録振動の提示では再現が困難なテクスチャに対し，画像特徴量を利用した振動提示手法を提案した．本稿では，画像特徴量を振動情報に重畳する際に，振動情報の特徴点に対する重みづけを適切に制御することにより提示する手法を提案する．また，提案手法について心理物理実験を実施した結果について議論する．

こんなんどう?

* 画像特徴量を利用した触覚振動表現において振動エネルギー不変となる重畳提示手法の検討
* A tactile rendering method that superimposes a strength of image feature on recorded vibration keeping the energy constant

振動エネルギーは何に比例するかちゃんと考えて研究してください

<https://eman-physics.net/dynamics/wave_energy.html>